

台風 に備えましょう

台風は、接近する時期や規模などを予測できるので、事前に対策がとれます。また、日頃から災害への準備を行うことで、被害を最小限に抑えることができます。台風発生後は、テレビなどで情報収集し、適切な行動ができるようにしましょう。

問い合わせ 危機管理室 (☎ 0866-92-8599)

家の中の備え

- ・停電に備えて携帯電話を充電し、モバイルバッテリーを用意しておく
- ・非常用品（懐中電灯、携帯用ラジオ、救急用品、衣類、非常用食品、貴重品など）を確認する
- ・室内の安全対策を取る（窓に飛散防止フィルムやテープを貼る、飛来物に備えてカーテンやブラインドを下ろしておくなど）
- ・断水に備えて飲料水を確保し、生活用水のため浴槽に水を張っておく
- ・浸水時の被害を防ぐ（漏電や感電を防ぐため、プラグをコンセントから抜いておく、低い位置にある物は高所か2階に移動させるなど）



土のうステーション

市内 10 カ所の土のうステーションで、水害対策用の土のう袋と土を無料配布しています。各自で土のうを作成し、1 世帯 20 袋まで持ち帰ることができます。

設置場所 消防本部グラウンド、東公民館南グラウンド、池田小学校グラウンド、西公民館西水防倉庫前、下原銀杏の木広場、昭和中学校グラウンド、維新小学校グラウンド、下村地区公会堂北グラウンド、歓喜寺（草田地区）、旧清音公民館南駐車場



家の外の備え

- ・窓や網戸の鍵を掛け、必要に応じて補強する
- ・屋根や外壁、ブロック塀などに異常がないか点検する
- ・側溝や排水溝、雨どいを掃除して、水はけをよくしておく
- ・風で飛ばされそうな物は固定するか、家の中に入れておく



下水道を正しく使いましょう

問い合わせ 下水道課下水道係 (☎ 0866-92-8322)

9月10日は、「下水道の日」と定められています。下水道は、台所やトイレ、風呂から出た汚水を処理し、害虫や悪臭の発生を防ぎ、街を清潔に保

つ役割を担っています。きれいな環境で安心して生活するために、下水道の正しい使い方を考えてみましょう。

下水道の正しい使い方

- 水洗トイレでは、トイレットペーパー以外の紙を流さない
→市内では、ウェットティッシュが下水道管のポンプに詰まり、ポンプの故障が頻発しています
- 台所の排水口には、野菜くずやてんぷら油などを流さない
- 台所からの排水を受けるますのごみを定期的に取り除く
- ガソリンや農薬、殺菌剤、アルコール類などの危険物を流さない

ウェットティッシュや油、危険物などを流してしまうと……

各家庭の排水管にダメージを与えるだけでなく、下水道管の詰まりやポンプの故障、汚水をきれいにする微生物の死滅などの原因になります。その結果、汚水が処理できなくなり、道路に汚水があふれたりするなど、広範囲に影響が出るおそれがあります。

①、④ 輪くぐり神事（総社宮輪くぐり） ② SKYM ジュニア・ウインドアンサンブルが演奏を披露（上三輪連合町内会・西三輪町内会天王様・夏祭り） ③ 福山合戦太鼓が演奏を響かせる（夏祭りやまで） ⑤ 総社宮表参道や商店街通りが幻想的な雰囲気に含まれた（あかりおひろい） ⑥ 多くの人をひきつけた子ども神楽の演舞（神在納涼まつり） ⑦ 友達と祭りを楽しむ（西村町内会夏祭り）